



かがやけ憲法

キャラバンニュース

北海道 青森 岩手 秋田 山口 広島 島根 鳥取

寒さに負けず、全国で訴え

かがやけ憲法キャラバン北海道・東北・関東越コースは、11月8日は秋田県を、中国・四国・東海・関東コースは鳥取県を駆け廻りました。

11/8 秋田

北海道・東北・関東越コース

経済団体等と懇談 秋田駅前宣伝で市民に訴え



た。

このうち、経済三団体との懇談では、全体的には数年前より新規採用などが改善しているが、大企業の撤退などで県南の雇用情勢が厳しくなっていること、地元企業では人材育成に力を入れており、新人の定着対策を強化していること、全国一律最賃や公契約の重要性などについて突っ込んだ話し合いとなり、今後も情報交換や協力をすすめていくことが確認されました。

11月8日は7時40分からの秋田駅前での宣伝行動からスタート。寒風吹きすさぶ中での宣伝行動でしたが、井上・全労連事務局次長、佐々木・秋田県労連議長、越後屋・秋田県労連事務局長などが次々とマイクを握り、憲法をいかし住民が主人公の政治に流れを変えよう、秘密保護法案反対、雇用の安定を、と元気に訴えました。また、20人近い参加者がチラシを配布しました。

その後は、午前中に秋田県商工団体連合会、秋田県医労連と、午後には秋田県中小企業団体中央会、秋田県商工会議所連合会、秋田県経済同友会と、それぞれ懇談しました。また、宣伝カーは秋田市内を流し宣伝。工業団地ではJMIU文化シャッター支部の組合員を激励するなどしまし



11/8 鳥取(2日目)

中国・四国・東海・南関東コース

岩美町、鳥取市、八頭町で懇談

11月8日、鳥取県労連は「かがやけ憲法キャラバン in 鳥取」の2日目に取り組みました。参加者は県庁前早朝宣伝のあと、鳥取県東中部の岩美町、鳥取市、八頭(ヤズ)町で自治体との懇談、宣伝を2グループに分かれて行いました。キャラバンの最後に、鳥取駅頭で脱原発を求める毎週恒例の「金曜行動」を行いました。

県庁前早朝宣伝

朝7時半、全労連の岩永千秋常任幹事、鳥取県労連の田中暁議長、植谷和則事務局長、堀尾結美事務局次長など11人が県労連事務所に集合、意思統一の後、県庁前早朝宣伝行動に取り組みました。全労連の岩永常任幹事がキャラバンカーから「憲法をくらしにいかそう」「秘密保護法は絶対廃案に」と力強く訴えるなか、行動参加者は、県労連が準備したキャラバンビラ、労働法法制ビラ、青年ビラ、労働相談ティッシュなどをセットした「キャラバン in 鳥取ビラセット」を配布しました。



自治体と懇談

介護保険の軽度者はずし 健康悪化を危惧 岩美町

自治体との懇談には、全労連と鳥取県労連から5人が参加。岩美町、鳥取市、八頭町の3自治体と懇談しました。鳥取県労連の田中議長は懇談の冒頭、全国キャラバンの趣旨を説明し「憲法9条など平和に関する問題だけでなく、生存権、勤労権に関わる身近な問題について懇談したい」、鳥取県労連の植谷事務局長は「年金、介護、生活保護など社会保障の改悪が進行するなか、貴自治体の現状を伺いたい」と述べました。

最初に懇談した岩美町は「非核・平和都市宣言」しています。榎本武利町長など4人が対応しました。町長は、個人的な見解としながらも「現行憲法を守るべき。自民党の憲法草案は超右寄りだ。TPPと道州制には反対」と明言しました。植谷事務局長が質問した介護保険の軽度者はずしによる自治体への影響について「岩美町は、これまでも地域支援事業のなかで特定高齢者に対する生活支援を行ってきた。しかし生活支援といっても見守り程度しかできない。町がこれ以上負担することは非常に困難。今回の介護保険制度の改革によって、支援を必要とする高齢者の健康状態が悪化するのでは」と危惧しました。

また植谷事務局長は岩美町の雇用拡大の取り組みについて質問。町長は「新卒正規職員を雇用した町の企業に、年間120万円を一定期間、補助する制度を3年前に設けた。しかし申請は1件だけ」「地元の青年は都会に行けば何とかなると思っているのだろうか？故郷にとどまって頑張してほしい」と語りました。岩美町町長は、懇談の最後に「現行憲法を職員に徹底したい」と力を込めました。

景気はまったく良くなっていない 地方に目をむけてほしい 八頭町

岩美町、鳥取市との懇談のあと、「かがやけ憲法キャラバン in 鳥取」最後の自治体との懇談は、自民党石破茂幹事長の出身地、八頭町です。鳥取県労連の市谷幹事によると、八頭町は議会が消費税増税中止の意見書を全会一致で採択するなど、変化が生まれています。懇談には吉田英人副町長らが対応しました。

懇談のなかで副町長は「7月から町職員の賃金を一律3パーセントカットした。賃金は上がらないのに消費税

はあがる。東京のことは知らないが、鳥取の景気はまったく良くなっていない」と不機嫌そう。「八頭町は2005年に3町が合併してできた。八頭町のこれまでの地方交付税は、合併後10年という期限付きで約50億円だ。しかし期限がくると、この地方交付税は段階的に11億円削減される。この削減は町にとって大問題。地方交付税など国の財政措置次第で町は大きく影響を受ける。町には大企業もなく、唯一の大企業だったサンヨーも撤退した。国はもっと地方に目を向けてほしい」と述べました。

番外:ゆるキャラ対決 in 島根県 & 鳥取県八頭町

しまねっこ VS やずびよん



憲法をいかし、くらし・雇用・平和を守ろう



全国縦断キャラバン2013